

# 東部土木事務所登米地域事務所 事業概要 2026

城ノ内道路改良事業



長沼川河川改修事業



蕪栗沼遊水地（令和4年7月洪水）



長沼と長沼フットピアトヨテツの丘公園



令和8年4月

## 1. 登米管内の概要

東部土木事務所登米地域事務所は、宮城県北東部、岩手県との県境に位置する登米市一円を管轄しています。登米市は平成17年4月に、登米郡8町（迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町）と本吉郡1町（津山町）の合併により誕生し、人口は令和8年2月末現在、およそ7万人です。

当事務所が管理する登米市一円は、面積が約536km<sup>2</sup>で、東部が山間地帯、西部が丘陵地帯となっており、東部を流れる北上川や、ほぼ中央部を貫通する迫川とその支川のほか、北西部には、ラムサール条約に登録された伊豆沼・内沼と蕪栗沼、そして長沼などが存在し、地域全体として「水の里」と称されています。

また、山間地帯と丘陵地帯の間には広大で平坦肥沃な登米耕土が形成され、宮城米「ひとめぼれ」などの主産地となっており、宮城県内有数の穀倉地帯として重要な役割を担っている地域です。

## 2. 登米地域事務所管内の概要

これまで当事務所では、長沼ダム建設等による迫川の治水対策や、他圏域と連結する数多くの道路整備をはじめとして、様々な社会資本整備及び管理を実施し、登米地域の発展に大きく寄与してきました。

平成23年に発生した東日本大震災に伴う震災復興においては、宮城県の復興に向けた復興支援道路として位置づけられた「みやぎ県北高速幹線道路」の令和3年12月の供用開始や、震災復興事業として各道路関係事業の整備を急速に進めて来ました。また、令和元年10月の台風19号や令和4年7月の豪雨など、大規模な水災害等に対応した河川の改修や整備についても今後一層進捗を図りながら、引き続き、登米地域における社会資本の拡充と適切な施設の維持管理に努めます。

### ● 管内の施設

県管理の道路 (R6.3.31現在)			県管理の河川延長		
種 別	路線数	路線延長 (km)	種 別	河川数	河川延長 (km)
一般国道	4	83.7	一級河川	27	145.4
主要地方道	8	100.6	二級河川	—	—
一般県道	14	112.1	準用河川	(3)	(3.9)
計	26	296.4	計	27	145.4
改良率	94.3% (県平均92.0%)		準用河川 ( ) は、登米市の管理		
舗装率	100.0% (県平均99.1%)				

(注1) 道路改良率

改良率は、車道幅員5.5m未満の改良済延長を含む

(注2) 所管区域を越えて管理する河川管理施設(許認可関係事務は所管区域のみ)

・伊豆沼及び周囲堤(一部除く)、伊豆沼第二工区越流堤・囲ぎよう堤、

伊豆沼第三工区越流堤・囲ぎよう堤

・内沼及び周囲堤

・南谷地遊水地及びその関連施設

・蕪栗沼遊水地及びその関連施設

砂防関係		都市計画	
砂防指定地	165箇所	区域指定(栗原・登米区域)	2区域
急傾斜地危険箇所指定地	18箇所	区域面積(登米市域)	8,191ha

### 3. 令和8年度の取組

#### ◆ 事務所の取組方針

- 台風や豪雨による大規模水害の減災に向けた河川改修事業と、流域における荒廃地域の保全及び土石流等の土砂災害から人命・財産を守るための砂防事業を推進する。
- バイパス化による隘路の解消、円滑で安全な交通の確保、通学路等の安全・安心な歩行空間の確保を推進する。  
な歩行空間の確保を推進する。
- 道路や河川の機能が十分に発揮できるよう、適正かつ効率的な施設の維持管理と長寿命化を着実に推進する。
- 大規模災害への備えとして、迅速かつ適切な管理施設の操作体制と防災意識の向上を図るとともに、所内研修や自主学習の促進により若手技術職員の育成と技術力向上を図る。

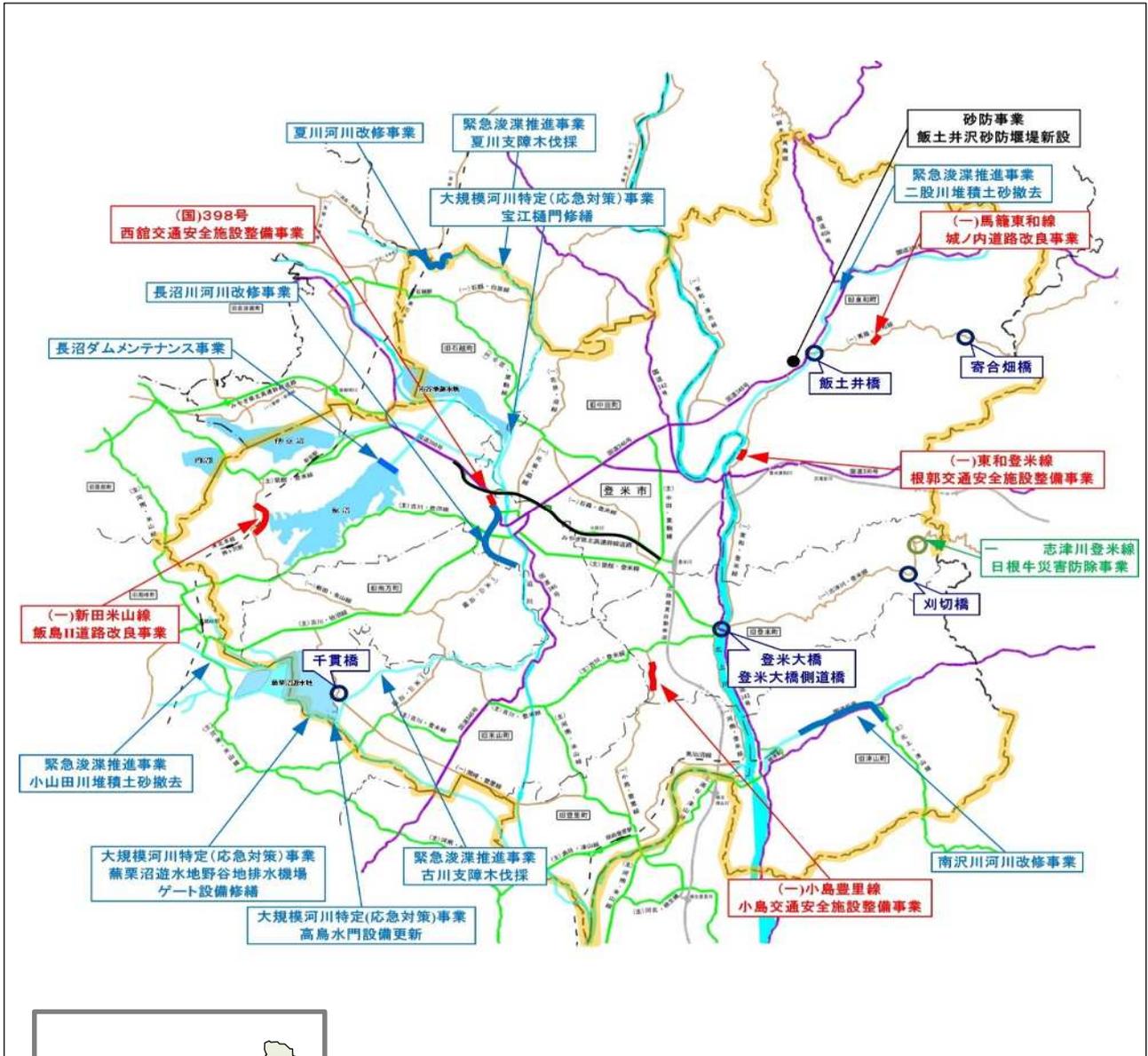
#### ◆ 主要事業及び取組

- ① 大規模水害の減災に向けた河川改修事業等の推進  
近年、激甚化・頻発化する水害に対し、治水安全度の向上や浸水被害軽減のため、河川改修や各管理施設の改築及び遠隔化、支障木伐採と堆積土砂撤去による適正管理を推進します。  
【河川改修事業】
  - ・ 長沼川 ⇒ 放水路工区：調整地周囲堤工事  
上流工区：測量業務、設計業務、地質調査業務
  - ・ 南沢川 ⇒ 護岸工、築堤工、橋梁詳細設計等
  - ・ 夏川 ⇒ 調査測量設計業務【長寿命化・応急対応事業】
  - ・ 蕪栗沼遊水地 ⇒ 野谷地排水機場ゲート設備修繕、高鳥水門設備更新設計  
宝江樋門修繕
  - ・ 長沼ダム ⇒ 長沼ダム管理用制御処理設備改良設計【緊急浚渫推進事業】
  - ・ 古川、夏川 ⇒ 支障木伐採
  - ・ 小山田川、二股川 ⇒ 堆積土砂撤去【砂防事業】
  - ・ 飯土井沢 ⇒ 砂防堰堤新設工事
- ② 地域の円滑な交通と安全で安心な通行を確保する道路整備の推進  
みやぎ県北高速幹線道路などの幹線道路網へのアクセス性の向上と、地域の円滑な交通を確保する道路整備を推進します。また、通学路等の地域の安全な歩行空間を確保するため交通安全施設整備を推進します。  
【道路改良事業】
  - ・ (一)新田米山線 飯島Ⅱ工区 ⇒ 用地買収、サーチャージ盛土  $V=4,100\text{m}^3$
  - ・ (一)馬籠東和線 城ノ内 ⇒ 橋梁下部工  $N=1$  基、道路改良工  $L=60\text{m}$【交通安全施設整備事業】
  - ・ (国)398号 西館工区 ⇒ 交差点改良  $L=300\text{m}$ 、張出歩道工  $L=44\text{m}$
  - ・ (一)小島豊里線 小島工区 ⇒ 用地買収、物件補償、歩道工  $L=100\text{m}$
  - ・ (一)東和登米線 根郭工区 ⇒ 用地買収
- ③ 道路等の公共土木施設の長寿命化と適正な維持管理の推進  
急速に進行する道路施設等の老朽化に対応するため、長寿命化修繕計画に基づく施設の修繕等を実施し、予防保全型への早期移行と適正な維持管理を推進します。  
【橋梁長寿命化事業】
  - ・ 登米大橋、登米大橋側道橋、千貫橋、寄合畑橋、刈切橋、飯土井橋

【舗装補修事業】

- ・(主)築館登米線 迫町森、(国)346号 東和町米谷、
- (主)中田栗駒線 中田町浅水、(国)346号 中田町石森、
- (国)398号 中田町宝江、(主)中田栗駒線 中田町上沼、
- (一)石森登米線 中田町石森

◆ 令和8年度主要事業箇所図



凡例	
<span style="color: red;">—</span>	道路改良事業等
<span style="color: blue;">—</span>	河川改修事業
<span style="color: green;">○</span>	災害防除事業
<span style="color: black;">●</span>	砂防事業
<span style="color: blue;">○</span>	橋梁長寿命化

## 4. 主要事業（取組）紹介

### ① 河川の改修等による総合的な防災力の強化

#### ● 河川改修の推進

近年、日本各地で多発している集中豪雨や異常気象等に伴う水災害を防止するため、地域の治水安全度の向上を目指して、各河川の河川改修を行います。

#### ■ 長沼川河川改修事業

長沼川は、旧迫川と合流する下流部において、農業用排水路として利用されており、断面が非常に狭く、河床勾配も緩い河川です。左岸側には旧迫町の中心市街地があり、大雨洪水時には内水被害も生じています。

このため、県では、新たに迫川へ導水する放水路等を整備し、市街地の治水安全度の向上を図ることとしています。



【計画概要】  
計画延長：L=3,400m  
計画規模：W=1/10  
計画高水流量：25m<sup>3</sup>/s  
事業期間：昭和61年度～



【令和8年度事業概要】  
放水路工区:調整地周囲堤工事  
上流工区:測量業務、設計業務、地質調査業務

#### ■ 南沢川河川改修事業

津山町を流れ北上川に注ぐ南沢川については、北上川の水位の影響を受ける河川であり、平成21年の台風18号及び令和元年台風19号の豪雨では、横山地区において浸水被害をもたらしました。そのため、流下能力の確保に向けて、工事等を進め、河川改修の進捗を図っています。



南沢川（護岸工）

【計画概要】  
計画延長：L=3,100m  
計画規模：1/20  
計画高水流量：470m<sup>3</sup>/s  
事業期間：平成13年度～

【令和8年度事業概要】  
護岸工（ブロックマット）  
橋梁詳細設計（南沢橋）等

#### ■ 夏川河川改修事業

岩手県との県境に位置する夏川は、昭和22年カスリン台風、23年アイオン台風や、平成14年の台風6号の大雨に伴う破堤などにより、頻繁に浸水被害をもたらしていることから、北側対岸の岩手県と調整・連携し、地域の治水安全度の向上を目指して、河川改修を推進しています。



夏川（JR東北本線交差部）

【計画概要】  
計画延長：L=2,310m  
計画規模：1/30  
計画高水流量：95m<sup>3</sup>/s  
事業期間：平成19年度～

【令和8年度事業概要】  
調査測量設計業務

## ● 国土強靱化の推進に伴う河川の適正管理

### ■ 河川の維持管理

毎年、日本全国の至るところで大雨などによる被害が発生しており、災害が頻発化・激甚化する傾向にあります。このため、令和2年度から「新・災害に強い川づくり緊急対策事業アクションプラン」に基づき、国土強靱化の予算等を河川の維持工事などに積極的に活用し、治水安全度の向上を図っています。

毎年実施している堤防・河道点検の結果を踏まえ、河道内の流下阻害率が20%を超える箇所を支障木伐採及び堆積土砂撤去を集中的に行い、河川の流下能力の確保を行います。

#### 【令和8年度事業概要】

- ・支障木伐採  
夏川、古川
- ・堆積土砂撤去  
小山田川、二股川



古川（支障木撤去前）



古川（支障木撤去後）

### ■ 河川管理施設の長寿命化

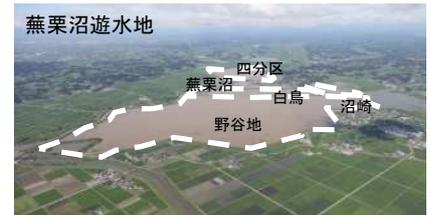
県が管理する水門や樋門などの河川管理施設は、治水上で大変重要な施設です。しかし、建設から50年以上経過している施設もあり、老朽化に伴う問題が顕在化してきたことから、計画的に予防保全型の維持管理を行い施設の長寿命化を図ることを目的とした「河川管理施設長寿命化計画」を平成28年に策定しました。管内の18施設が計画に位置づけられており、計画的に施設の長寿命化を図っています。

#### 【令和8年度事業概要】

- ・蕪栗沼遊水地  
野谷地排水機場ゲート設備修繕、  
高鳥水門設備更新設計、  
宝江樋門修繕



野谷地排水機場



R4.7月豪雨時の湛水状況

## ● 長沼ダム等の河川管理施設の適切な維持管理

当管内には、長沼ダムや南谷地遊水地、蕪栗沼や各河川に設置されている数多くの河川管理施設が存在しており、その適切な操作と維持管理が求められます。これらの操作や管理は非常に複雑であることから、事務所全体として適切な対応に向けた体制を構築するとともに、水災害対応時等における関係機関との連携強化を図っています。

また、施設の老朽化に伴う支障が問題となってきていることから、計画的な修繕を進めます。

### ■ 長沼ダムの維持管理

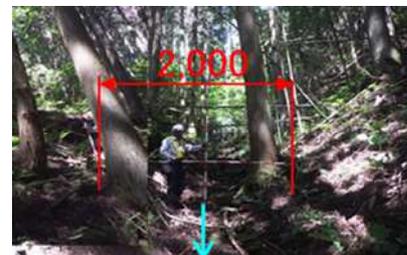
長沼ダムは、迫川の洪水調節及び湖面の利用などを目的に、平成26年に完成した多目的ダムです。長沼ダムは低平地に位置するダムで、主ダム・長沼水門・砂原越流堤のほか、迫川と長沼を繋ぐ導水路、背後地を守る副堤、内水排除のための排水機場等、関連施設が多岐にわたっています。長期的視点を踏まえた維持管理や設備の更新等をより効果的・効率的に行うため、平成29年度及び令和7年度に「長沼ダム長寿命化計画」を策定・更新し、異常気象時に万全の機能が発揮できるよう、適切な維持管理を行います。



## ● 新設砂防堰堤の推進

近年の気象変動に伴う土砂災害の頻発化・激甚化、土砂洪水氾濫や流木被害等の新たな被災も顕在化しているため、令和5年度に「みやぎ砂防アクションプラン2024」を策定し、ハード・ソフト対策の各々を推進しています。当管内においては、土石流対策の一環として、要配慮者利用施設を有する区域を優先的に対象とし、新設の砂防堰堤整備を推進します。

【令和8年度事業概要】  
飯土井沢  
砂防堰堤新設工事



飯土井沢堰堤

## ② 地域の円滑な交通と安全で安心な通行を確保する道路整備・道路管理

### ● 道路改良の推進

みやぎ県北高速幹線道路などの幹線道路網へのアクセス性の向上や地域の円滑な交通を確保など、円滑な交通網の形成を目指して、県管理の国道及び県道において道路拡幅やバイパスなどの道路改良を進めます。

#### ■ (一) 新田米山線 飯島Ⅱ道路改良事業

迫町新田地区の県道新田米山線は、JR東北本線のボックス横断部が狭隘で、大型交通の規制を余儀なくされ、地域の交通に支障を来しています。そのため、前後の登米市道を利用してバイパス道路を整備し、本路線の円滑な交通の確保を図ります。



【事業概要】  
計画延長：L=1,600m  
幅員：W=6.0(8.5)m  
事業期間：平成29年度～

【令和8年度事業概要】  
用地買収  
サーチャージ盛土工  
V=4,100m<sup>3</sup>

#### ■ (一) 馬籠東和線 城ノ内道路改良事業

(一) 馬籠東和線の当該工区の道路は幅員が狭く自動車のすれ違いが困難な箇所が存在し、その中には橋梁も含まれている。そのため、新たな橋梁の架設およびバイパス道路の整備を行い、交通の円滑化と安全性の向上を図ります。



【事業概要】  
計画延長：L=580m  
幅員：W=6.0m  
事業期間：令和8年度～

【令和8年度事業概要】  
橋梁下部工 N=1基  
道路改良工 L=60m  
支障物件移転(水道、電柱)

#### ■ (主) 北上津山線 久保道路改良事業

(主) 北上津山線の当該工区は、一級河川南沢川が並走する人家連単部であり、道路は幅員が狭く自動車のすれ違いが困難な箇所が存在します。そのため、南沢川河川改修事業と調整を図りながら道路整備を行い、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ります。



【事業概要】  
計画延長：L=780m  
幅員：W=6.0m  
事業期間：令和4年度～

【令和8年度事業概要】  
交差点詳細設計 一式

## ● 交通安全施設整備の推進

管理する国県道の通学路等において、通学児童をはじめとした歩行者の安全を確保するために、歩道の設置などの交通安全施設の整備を進めます。

### ■ (国)398号 西館交通安全施設整備事業

迫町西館地区は、国道と市道が交差する要所であり、交通量も多く、住宅地における生活道路且つ通学路となっており、多くの歩行者が利用します。そのため、歩行者の安全な通行の確保を図るため、歩道の整備を実施します。



#### 【事業概要】

計画延長：L=900m  
幅員：W=6.5(13.0)m  
事業期間：平成19年度～

#### 【令和8年度事業概要】

交差点改良 L=300m  
張出歩道工 L=44m

### ■ (一)小島豊里線 小島交通安全施設整備事業

登米町小島地区の県道小島豊里線は、登米小学校の通学路に指定され、通学児童はもとより地域住民にも利用されています。歩道がなく通行に支障を来していることから、安全な歩行空間の確保に向けて、新たに歩道の整備を行います。



#### 【事業概要】

計画延長：L=660m  
幅員：W=6.0(12.0)m  
事業期間：令和2年度～

#### 【令和8年度事業概要】

用地買収・物件補償  
歩道設置工 L=100m

### ■ (一)東和登米線 根郭交通安全施設整備事業

東和町根郭地区の県道東和登米線は、狭隘で見通しの悪いカーブや急な縦断勾配となっていますが、歩道がなく通行に支障を来しています。そのため、安全な歩行空間の確保に向けて、新たに歩道の整備を行います。



#### 【事業概要】

計画延長：L=300m  
幅員：W=5.5(9.0)m  
事業期間：令和5年度～

#### 【令和8年度事業概要】

用地買収

## ● 道路災害防除の推進

道路法面における落石や崩壊の恐れのある危険箇所の災害防除事業を実施し、安全な道路環境を構築します。

### ■ (一)志津川登米線 上羽沢道路災害防除事業

令和7年5月に法面の土砂崩落が発生し、約半年にわたり通行止めとなり、現在も片側交互通行規制となっている当該箇所において、崩落法面の対策を行うもの。



#### 【事業概要】

計画延長：L=50m

#### 【令和8年度事業概要】

地質調査及び法面詳細設計

### ③ 道路等の公共土木施設の長寿命化と適正な維持管理の推進

#### ● 橋梁耐震化・長寿命化の推進

宮城県では、現在「新橋梁耐震化計画」及び「次期橋梁耐震化計画」に基づき、主要な幹線道路の100m以上の橋梁を対象に、計画的に耐震化を進めています。

また、高度成長期半ば頃から集中的に建設されてきた本県の道路橋については、急速に高齢化が進行しているため、平成27年3月に改定した「橋梁長寿命化計画」に基づき、橋梁補修も推進しています。

##### 【事業予定橋梁】

- 橋梁耐震化（計画橋梁数：9橋）  
三ツ口橋（完了）、新田跨線橋（完了）  
二ツ屋橋（完了）、豊里大橋（完了）  
柳津大橋（完了）、十五貫橋（完了）  
飯土井大橋（完了）、錦橋（完了）  
桜岡橋

##### ○橋梁長寿命化

- 【令和8年度事業概要】  
登米大橋、登米大橋側道橋、千貫橋、  
寄合畑橋、刈切橋、飯土井橋

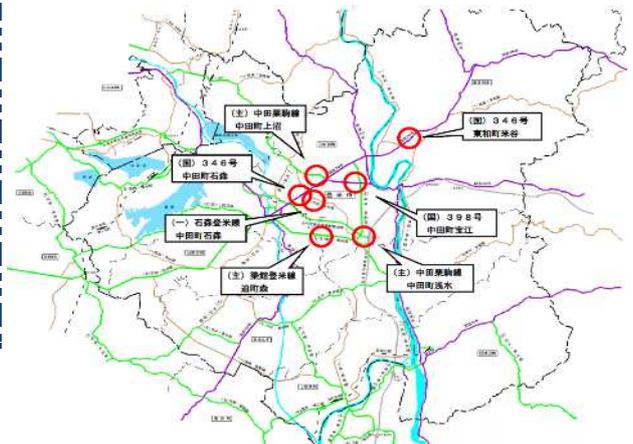


#### ● 道路舗装補修の推進

県管理道路において、安全で円滑な交通環境の確保を図るため、計画的な舗装補修工事を実施しています。また、日頃より安全・安心な道路環境の確保を目的として、定期の道路パトロールや、維持補修、除融雪などに取り組んでいます。

##### 【令和8年度事業概要】

- (主) 築館登米線 迫町森
- (国) 346号 東和町米谷
- (主) 中田栗駒線 中田町浅水
- (国) 346号 中田町石森
- (国) 398号 中田町宝江
- (主) 中田栗駒線 中田町上沼
- (一) 石森登米線 中田町石森



【補修前の状況】



【補修後の状況】



令和7年実施 (主)中田栗駒線 中田町浅水



## ⑤ 事務所事業の広報活動

### ● 当事務所の事業PRについて

地域の皆さまに、当事務所が実施している事業などについて「もっと知って欲しい」という思いから、登米市の地域コミュニティエフエム「H@!FM」（はっとFM）で事業の紹介をしています。

今後も市民の皆さまに公共事業や季節毎の情報を紹介し、土木行政に少しでも関心を持っていただけるよう、これからも続けてまいります。



放送収録の様子（令和7年8月）

### 令和8年放送予定

2月 登米地域事務所について

3月 道路事業について

6月 土砂災害防止月間と  
洪水対策について

8月 道路ふれあい月間について

10月 台風時期について

12月 道路維持管理について



## ⑥ その他の取組

### ● 地域の方々との協働による施設管理

県が管理する道路や河川における清掃や緑化・除草などの活動を支援し、ボランティア活動の活性化と地域環境の維持向上等を通して民間と行政のパートナーシップを構築しながら、住民参加のまちづくりを進めています。

#### ■ スマイルサポーターの仕組み

県が管理する道路や河川において、定期的に清掃や緑化作業などの美化活動をボランティアで行うもので、活動前にスマイルサポーターと市町村、宮城県の三者でお互いの役割分担を盛り込んだ覚書を結びます。

#### ■ 県の役割

ボランティア保険に加入し、万が一の場合に備えます。また、サポーターの名前入り表示板を設置するほか、ホームページなどでその活動をPRするとともに、道路や河川の利用者のマナー向上を図ります。

#### ■ 市の役割

ゴミの処分やゴミ袋の提供などの支援をお願いしています。また、情報提供など県と連携してサポーターの活動をバックアップします。

【令和8年2月末現在】  
スマイルリバー  
(26団体 672人)  
スマイルロード  
(59団体・個人 1,732人)



スマイルロードサポーターの皆さん



スマイルリバーサポーターの皆さん



明日につなぐ × ミヤギの土木  
宮城県土木部



## 宮城県東部土木事務所 登米地域事務所

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

■ TEL 0220-22-6111 (登米合同庁舎代表)  
● FAX 0220-22-7534 (登米地域事務所)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 総務班 / (内)611 (直通)22-7533     | <input type="checkbox"/> 用地班 / (内)628 (直通)22-2505     |
| <input type="checkbox"/> 行政班 / (内)619 (直通)22-2494     | <input type="checkbox"/> 道路管理班 / (内)602 (直通)22-2716   |
| <input type="checkbox"/> 道路建設班 / (内)609 (直通)22-6143   | <input type="checkbox"/> 河川砂防第一班 / (内)641 (直通)22-2763 |
| <input type="checkbox"/> 河川砂防第二班 / (内)636 (直通)22-2216 |   |